



●母子健康手帳の交付

保健師が、妊婦さんの体調などを聞きながら母子健康手帳の使い方や妊婦健康診査について説明を行います。交付場所は<西合志庁舎>健康づくり推進課です。また、健康育児相談時も交付できますので健康づくり事業計画表をご参照の上お越しください。産婦人科から妊娠届出書をお願い、持参ください。

●熊本県小児救急電話相談事業

相談時間

毎日・夜間
午後7時から午前0時
☎ #8000
(ただし、ダイヤル回線・IP電話・光電話からは☎364-9999)

健康のすゝめ



問い合わせ先
健康づくり推進課 健康推進班(西合志庁舎) ☎242-1183



みやの小児科 院長 高島健二先生

Q3

温泉は生後何カ月くらいから入っていいですか？また、入浴剤はいつから使用できますか？

A3

特に何カ月ということはありませんが、まず考えなければいけないのは赤ちゃんは水分比率が高く、汗もかきやすく脱水しやすいということです。したがって長湯はいけません。あと、皮膚の自浄作用も未熟なので、細菌の多い公衆浴場も避けたほうがいいです。また、アトピーなど温泉成分によっては悪化することもあるので、注意したほうがいいでしょう。入浴剤も生後すぐからでも構いませんが、成分をよく確かめてから使用してください。(赤ちゃんにとって皮脂は重要な皮膚の自浄作用を保つ成分です。清潔を保ち汗を流す程度でいいですよ)

Q4

便が何日間出なければ便秘になりますか？便秘の対応について教えてください。グリセリン浣腸や綿棒浣腸を毎回してもいいのでしょうか？

A4

便秘の定義はいろいろありますが、赤ちゃんは3回食になり、断乳してから対応について考えればいいと思います。それでも赤ちゃんがお腹が張ってミルクの飲みが悪くなったり、いきんでも便が出ないときには、お腹の『の』の字マッサージなどを行なってください。それでも出ないときは綿棒浣腸、それでも出ないときにはかかりつけの小児科医にご相談ください。(離乳食やミルクについては個人差もあり小児科医が個別にご相談にのります。)

Q5

風邪がなかなか治らず抗生剤を1カ月ほど飲み続けています。長く飲んでも大丈夫でしょうか？

A5

風邪ではないのでしょうか。風邪はウイルス感染ですから抗生剤は使用しません。通常、2次感染の予防に2～3日使用することは多いですが、基本的には細菌感染の疑われるときに使用します。例外的に長期的に使用する場合もありますが、長くても2週間程度です。お薬で心配なときはかかりつけの小児科医によく聞いてください。保護者と相談しながら治療するのがかかりつけの小児科医の大事な仕事ですから何でも聞いてください。

子育ては悩みが多いもの。特に、はじめての子どもは注意すべきことや病気の対処法がわからずあたふた……。なんてことはありませんか？そこで、みやの小児科(合志市幾久富)の高島先生に赤ちゃんに関するいくつかの疑問に答えてもらいました。

Q1

4カ月の赤ちゃんをソファの上に寝かせていたら、床の上に落ちてしまいました。すぐに病院に行ったほうがいいでしょうか？病院に連れて行く目安を教えてください。

A1

通常は、落ちたショックで驚いて泣きますが、あやすと泣きやみ普通にミルクを飲んで眠れば様子を見ていいと思います。注意すべき点は、落ちたときにどこを打ったのか分からないことが多いので、5日間くらいは、顔色、吐乳(ミルクを吐く)、抱き上げた時に突然泣くことがないか注意してください。頭部打撲による硬膜下血腫、脳挫傷、また鎖骨骨折など心配すればきりがありますが、赤ちゃんは体も骨も軟らかく食欲と機嫌がよければ慌てて受診することはないと思います。

Q2

子どもが冬場にかかりやすい病気について教えてください。

A2

一般的には冬場は乾燥して温度が低いいためウィルスの活動と飛沫が増え、大人も子どもも風邪(ウィルス感染)にかかりやすくなり、特にインフルエンザの流行に注意しておくことが大切です。赤ちゃんでは、ロタウィルスによる乳児冬期下痢症、ノロウィルスによる感染性胃腸炎、下痢嘔吐に伴う脱水症が起こりやすくなります。幼稚園、学校、デパートなどさまざまな場での感染の可能性があるので気をつけましょう。外出後は手洗い、うがいの習慣づけや夜更かしによる疲労に注意しましょう。

教えて先生

Q & A

みやの小児科 高島先生へ質問

